安全データシート

Agilent Technologies

PLRP-S Media

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : PLRP-S Media

部品番号 : PL1412-0601(ABI), PL1412-0602(ABI), PL1412-2100, PL1412-2101, PL1412-2102, PL1412-2103, PL1412-2200, PL1412-2201, PL1412-2400, PL1412-2401, PL1412-2702, PL1412-2703, PL1412-2K00, PL1412-2K01, PL1412-2K02, PL1412-4100, PL1412-4101, PL1412-4102, PL1412-4103, PL1412-4200, PL1412-4201, PL1412-4400, PL1412-4401, PL1412-4702, PL1412-4703, PL1412-4801, PL1412-4A05, PL1412-4K00, PL1412-4K01, PL1412-4K02, PL1412-6100, PL1412-6101, PL1412-6102, PL1412-6103, PL1412-6200, PL1412-6201, PL1412-6400, PL1412-6401, PL1412-6702, PL1412-6703, PL1412-6800, PL1412-6801, PL1412-6A05, PL1412-6K00, PL1412-6K01, PL1412-6K02

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: +(81)-345209637

化学製品の推奨される用途 : 分析化学研究所用の試薬および基準
プラスチックびん

PL1412-0601(ABI)	PLRP-S 300A 50-70um MEDIA (1g)
PL1412-0602(ABI)	PLRP-S 1000A 50-70um MEDIA (1g)
PL1412-2100	PLRP-S 100A 10um 10g
PL1412-2101	PLRP-S 300A 10um 10g
PL1412-2102	PLRP-S 1000A 10um 10g
PL1412-2103	PLRP-S 4000A 10um 10g
PL1412-2200	PLRP-S 100A 15-20um 10g
PL1412-2201	PLRP-S 300A 15-20um 10g
PL1412-2400	PLRP-S 100A 10-15um 10g
PL1412-2401	PLRP-S 300A 10-15um 10g
PL1412-2702	PLRP-S 1000A 30um 10g
PL1412-2703	PLRP-S 4000A 30um 10g
PL1412-2K00	PLRP-S 100A 50um 10g
PL1412-2K01	PLRP-S 300A 50um 10g
PL1412-2K02	PLRP-S 1000A 50um 10g
PL1412-4100	PLRP-S 100A 10um 100g
PL1412-4101	PLRP-S 300A 10um 100g
PL1412-4102	PLRP-S 1000A 10um 100g
PL1412-4103	PLRP-S 4000A 10um 100g
PL1412-4200	PLRP-S 100A 15-20um 100g
PL1412-4201	PLRP-S 300A 15-20um 100g
PL1412-4400	PLRP-S 100A 10-15um 100g
PL1412-4401	PLRP-S 300A 10-15um 100g
PL1412-4702	PLRP-S 1000A 30um 100g
PL1412-4703	PLRP-S 4000A 30um 100g
PL1412-4801	PLRP-S 300A 8um 100g
PL1412-4A05	VARITIDE RPC, 100g
PL1412-4K00	PLRP-S 100A 50um 100g
PL1412-4K01	PLRP-S 300A 50um 100g
PL1412-4K02	PLRP-S 1000A 50um 100g
PL1412-6100	PLRP-S 100A 10um 1kg
PL1412-6101	PLRP-S 300A 10um 1kg
PL1412-6102	PLRP-S 1000A 10um 1kg
PL1412-6103	PLRP-S 4000A 10um 1kg
PL1412-6200	PLRP-S 100A 15-20um 1kg
PL1412-6201	PLRP-S 300A 15-20um 1kg
PL1412-6400	PLRP-S 100A 10-15um 1kg
PL1412-6401	PLRP-S 300A 10-15um 1kg
PL1412-6702	PLRP-S 1000A 30um 1kg
PL1412-6703	PLRP-S 4000A 30um 1kg
PL1412-6800	PLRP-S 100A 8um 1kg
PL1412-6801	PLRP-S 300A 8um 1kg
PL1412-6A05	VARITIDE RPC, 1kg
PL1412-6K00	PLRP-S 100A 50um 1kg
PL1412-6K01	PLRP-S 300A 50um 1kg
PL1412-6K02	PLRP-S 1000A 50um 1kg

1. 化学品及び会社情報

使用上の制限 : 情報なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

区分に該当しない。

その他の危険有害性 : 空気中で可燃性粉塵濃度を形成するおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
スチレン・ジビニルベンゼン共重合物	100	9003-70-7	6-155; 6-167	(6)-155; (6)-167

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合 : 規制の又は勧告されている暴露限界濃度を超える空気浮遊物質に曝露すると、鼻、のど及び肺に炎症を引き起こす原因となることがある。

眼に入った場合 : 規制の又は勧告されている暴露限界濃度を超える空気浮遊物質に暴露すると、目に炎症を引き起こす原因となることがある。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
気道刺激性
咳

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
充血

応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末化学消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤 : 粉塵と空気の爆発性混合物を形成する可能性がある高圧媒体を避けること。

特有の危険有害性 : 分散すると、粉塵と空気の爆発性混合物を形成する可能性がある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素

5. 火災時の措置

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。 ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 全ての発火源を遮断する。 危険地域には、発火信号、煙草、火焔機器を持ち込まない。 粉塵の吸入を避ける。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出区域から容器を移動する。 火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。 物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 粉塵の吸入を避ける。 取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて(火花または火炎)を避ける。 粉塵の貯留を防止する。 換気が十分な場所でのみ使用する。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 電気機器および照明器具は、熱せられた表面、火花、その他の引火源に粉塵が接触しないよう、適切な基準に合わせて防護されていなければならない。 静電気防止対策を講じる。 火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電気的に接続する。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 隔離され認定された場所に貯蔵する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 あらゆる発火源を除去する。 酸化性物質に近づけない。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 換気が十分な場所でのみ使用する。 ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。 ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。 防爆型換気装置を使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的暴露指数

曝露指標は知られていない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。 作業条件により高濃度の粉塵が発生する場合は、粉塵用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

物理状態 : 固体 [粉末。]

色 : 白。

臭い : 情報なし。

臭いのしきい値 : 情報なし。

pH : 情報なし。

融点／凝固点 : 分解します

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

引火点 : 該当しない

蒸発速度 : 情報なし。

可燃性 : 情報なし。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当しない

蒸気圧 : 情報なし。

相対ガス密度 : 該当しない

相対密度 : 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	不溶性

n-オクタノール／水分配係数 : >4

自然発火点 : 500℃ (932℉)

分解温度 : 情報なし。

粘度 : 該当しない

粒子特性

中央粒径値 : 情報なし。

その他のデータ

追加情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件 : 取り扱い時に粉塵の生成を避け、着火の原因となり得るものすべて(火花または火炎)を避ける。静電気防止対策を講じる。 火災や爆発を防止するため、容器を接地して運搬中の静電気を放電させると共に、物質を移し換える前に容器と用具を電気的に接続する。 粉塵の貯留を防止する。

混触危険物質 : 次の物質と反応性あるいは危険配合性:
酸化性物質

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

情報なし。

急性毒性の推定

N/A

刺激性/腐食性

情報なし。

呼吸器感作/皮膚感作

情報なし。

生殖細胞変異原性

結論/要約 : 情報なし。

発がん性

結論/要約 : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約 : 情報なし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

情報なし。

残留性・分解性

情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
スチレン・ジビニルベンゼン共重合物	≥4	<500	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

12. 環境影響情報

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 本品の分解生成物は、本品自体よりも毒性が高い。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
指定可燃物	合成樹脂類 その他のもの	情報なし。	情報なし。	3000 kg

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) - 2023年3月まで

非該当

化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 当物質は記載されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 当物質は記載されているかあるいは免除されている。

米国 : この材料はアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2023/06/30

前作成日 : 2020/06/17

バージョン : 7

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。